



世田谷稲門会会報

令和元(2019)年7月26日

第71号

発行人 世田谷稲門会 明一子
集行 横田並俊美 子行
編集 榎山多信 秀昭
兼大 内林 俊
若鷲 巢

事務局 〒157-0062
世田谷区南鳥山5-4-10-4F
TEL/FAX 03-5384-2435
戸田 昇(とだ のぼる)

納涼会

ビール工場ツアーとバーベキュー!

9月8日(日)

キリン横浜ビアビレッジにて

令和になって初の納涼会は、緑に囲まれたレストランで、隣接した工場で造られた新鮮なビールとバーベキューを楽しみたいと思います。担当はけやき会です。訪問先のキリン横浜ビアビレッジは、ビール工場とレストラン、庭園で構成されるレジャー施設『ビール文化村』です。バスを仕立てて皆さん一緒に楽しく行く計画です。

工場見学では、ビールの歴史やビールができるまでの工程をガイドの説明を聞きながら見学し、最後はビールの試飲会です。ビールの勉強をした後は、停泊している船をイメージしたレストラン『ビア・ポート』でバーベキューを楽しみます。新鮮なビールやソフトドリンクは飲み放題。まだ暑い9月の初め、本格的なビアレストランで大いに盛り上がりましょう。



せっかくバスで行きますので、途中ちよつと寄り道をして横浜中華街を散策します。各自自由に関帝廟をお参りしたり買い物をしたりでひと時をお過ごし下さい。店先の美味しい点心を食べるのも一興ですが、食べ過ぎには要注意。お昼にはビールとバーベキューが待っています。令和元年の納涼会は思い出に残るものになること間違いなしです。

- ・申込は同封されている払込取扱票にてお願いします。
 - ・会費は8000円です。
 - ・詳細は同封の納涼会案内を参照下さい。
- (けやき会 花澤 隆/記)

世田谷稲門会役員名簿 (令和元年度)

役職	氏名	卒年・学部	担当	備考
会長	横田 吉明	昭38・商		商議員、西北
副会長	鈴木 宏治	昭38・商	イベント統括	商議員、千歳
副会長	露木 茂	昭38・政経	イベント統括	商議員、きぬた
副会長	熊谷 慶紀	昭38・政経	特命担当	商議員、西北
副会長	真木 郁夫	昭40・理工	ブロック会統括	玉川
副会長	旭 正勝	昭41・商	23区支部担当幹事	けやき
副会長・幹事長	國澤 俊一	昭43・理工		商・代議員、きぬた
副会長	林 馨	昭45・理工	事務局統括	商・代議員、玉川
副幹事長	榎田 俊一	昭46・理工	広報・HP統括	代議員、きぬた
事務局長	戸田 昇	昭47・政経	事務局担当	代議員、千歳
事務局長補佐	斎藤 正憲	昭50・理工	事務局担当、ブロック会担当	代議員、けやき
事務局長補佐	篠崎 章子	昭52・政経	事務局担当、地域サポート活動部会担当	代議員、千歳
幹事	富塚 兆彌	昭41・政経	組織拡充統括	代議員、キャラット
幹事	小林 昭一郎	昭41・政経	部会担当	代議員、玉川
幹事	牧 哲郎	昭43・理工	組織拡充担当	玉川
幹事	桃井 清治	昭44・政経	会計統括	代議員、西北
幹事	井上 文	昭45・理工	レディースクラブ統括、地域サポート活動	けやき
幹事	小口 浩一	昭45・法	組織拡充担当	代議員、さくら
幹事	佐伯 基憲	昭45・法	23区支部担当幹事代行	きぬた
幹事	薄井 好	昭47・商	部会統括	商議員、千歳
幹事	山田 昭	昭50・政経	会計担当	代議員、西北
幹事	濱野 千鶴子	昭50・教育	事務局担当、レディースクラブ担当	キャラット
幹事	中島 田一郎	昭59・法	青年部会統括	代議員、さくら、青年
幹事	池田 友彦	昭62・文	青年部会担当	商・代議員、西北、青年
幹事	秋山 多美子	平01・教育	広報・HP担当、青年部会担当	代議員、青年
監事	寺島 邦夫	昭38・政経	イベント担当	商・代議員、西北
監事	矢後 勝洋	昭40・政経	ブロック会担当	代議員、さくら
顧問	柏 良子	商31・政経		商議員、西北
顧問	土倉 享一	昭34・政経		商・代議員、千歳
顧問	麻生 卓	昭34・政経		商議員、西北
顧問	島田 實	昭40・法		商・代議員、けやき

第28回定時総会開催

元NHKアナウンサー
松平定知氏講演

令和元年6月8日(土)、青山のアイビーホール『サフランの間』にて16時から開催されました。来賓も含めて99名の皆さんに参加いただきました。



バザー担当の皆さん



第一部司会の國澤幹事長

総会に先駆け15時より会場入口脇でバザーが開催されました。レディースクラブと地域サポート活動部会の皆さんが担当となり、多くの品物が出品され、訪れた参加者が購入されました。



講演する松平さん

第一部は國澤俊一幹事長による司会で、まずは昨年度の物故者3名の冥福を祈り黙とうを捧げました。横田吉明会長の挨拶に続き、第28回定時総会が行われました。議長に横田会長が選任され、議案1平成30年度活動報告・決算、議案II令和元年度活動計画・予算、議案III会則改定、が審議され承認されました。来賓のご挨拶として早稲田大学理事の井上文人氏から大学の現状や田中新学長の方針などについて詳細にご説明いただきました。



挨拶する横田会長



第二部・三部司会の牧幹事

い、全く理解できなくなってしまうます。見ず知らずの人の話す言葉をきちんと理解できる時間的限度は10秒だとい



第二部は牧哲郎幹事の司会により、元NHKのアナウンサーの松平定知氏の講演会が開かれました。「伝えるということ」と題して、氏のアナウンサー時代の数々の経験をも

とに、他人にものを伝えることの難しさについてお話いただきました。「講演要旨」伝えたいことの一語一語のすべてに一生懸命に力を入れて話すと、聞いていた方が疲れてしま



挨拶する露木副会長

われています。つまり、1分に300〜400字で話すとなると、せいぜい10秒では70文字が限度ということですが。書き言葉の論理性を持たせたらうえて、雑談での話し言葉の分かり易さを持たせるのが、うまく伝えるポイントです。
・伝えるための「三原則」
・センテンスは短く、Max 70文字以内とする
・結論を先に言うこと
・使い古された表現を使用しないこと
要するに伝わるように伝えることが大切だということです。
第三部はお待ちかねの懇親会です。牧哲郎幹事の司会で進められ、まずは露木茂副会長の開会の挨拶です。続いて来賓の早稲田大学地域コーディネーター嶋村貴志氏、23区支部長で中野稲門会会長の高田宜美氏、三宅茂樹世田谷三田会会長のご挨拶の後に、新入会員5名の紹介がありました。皆さんの喉も乾ききった頃、熊谷慶副会長の乾杯

の音頭で、懇親会が始まりました。美味しい料理とお酒とおしゃべりで至福の時を過ごしました。
宴会途中で、夏に予定されている納涼会の紹介、稲門祭記念グッズの購入依頼、レディースクラブ講演会のお知らせ、本日のバザー協力の御礼と売上報告がありました。



講演を聴く皆さん



リードする池田幹事

締めは鈴木宏治副会長の閉会挨拶の後、応援部監督の池田友彦幹事のリードで恒例の校歌斉唱です。エールを交換してお開きとなりました。

(榎並 俊一/記)

世田谷稲門会・平成30年度決算及び令和元年(2019年)度予算 (単位:円)

項 目		30年度予算	30年度決算	令和元年度予算
前期末積立金		500,000	500,000	600,000
前期繰越金		① 1,362,223	1,362,223	1,441,570
収 入	年会費(準会員含み)	② 1,453,000	1,497,000	1,426,000
	総会 会費	ア 700,000	592,000	700,000
	新年会 会費	イ 800,000	742,000	800,000
	納涼会 会費	ウ 1,000,000	574,000	800,000
	諸行事 小計(ア～ウ)	③ 2,500,000	1,908,000	2,300,000
	校友会組織強化補助金	エ 537,000	543,000	543,000
	利息収入	オ 10	9	10
		カ		
	その他収入小計(エ～カ)	④ 537,010	543,009	543,010
	収入合計②③④		4,490,010	3,948,009
支 出	総会 費用	1 700,000	566,945	700,000
	新年会 費用	2 720,000	697,469	750,000
	新年会景品代	3 80,000	74,948	80,000
	納涼会 費用	4 1,000,000	543,066	800,000
	諸行事 小計(1～4)	I 2,500,000	1,882,428	2,330,000
	早大サポーターズクラブ寄付金	5 50,000	50,000	50,000
	ブロック会支援金	6 70,000	70,000	70,000
	会員増強ブロック会支援金		70,000	102,725
	部会支援金	7 110,000	100,000	110,000
	ブロック会・部会代表者会議費	8 20,000	5,600	20,000
	レディスクラブ活動費	9 30,000	19,552	30,000
	青年部会活動費	10 10,000		10,000
	校友会23区活動費	11 200,000	204,736	200,000
	広報活動費	12 620,000	623,511	620,000
	会議費	13 300,000	317,920	300,000
	事務用品費	14 140,000	138,405	140,000
	通信費	15 180,000	176,051	180,000
	雑費	16 60,000	59,534	60,000
	教育訓練費	17 30,000	18,200	
	名簿作成費	18		60,000
積立金繰入額	19 100,000	100,000	100,000	
	20			
諸経費 小計(5～20)	II 1,990,000	1,986,234	1,950,000	
支出合計 I + II		4,490,000	3,868,662	4,280,000
次期繰越金		1,362,233	1,441,570	1,430,580
積立金(記念事業等)		600,000	600,000	700,000

改定会則等 HP に掲載のお知らせ

6月8日(土)の総会で改定を承認された会則及び関連の組織図、内部規定、業務分掌規定を世田谷稲門会 HP (ホームページ) に掲載しております。是非ご覧ください。(事務局)

ブロック会だより

西北

○「西北会サポーター会開催」

平成31年3月23日(土)17:30より下北沢の『つ串亭』で西北会・サポーター会を実施。今回のテーマは、「今春のイベントの検討」「西北会運営体制の見直し」。寺島邦夫代表世話人の冒頭の挨拶、乾杯の発声のあと早速飲みながら、食べながら議題に取り組んだ。イベントは豊洲市場見学&食事など数件が提案された。具体的な検討は後日企画運営委員に委ねられた。体制の見直しは組織の硬直化解消、複数人による機動的な運営体制(事務局の拡充、担当制)の提案がなされ賛同を得た。

○前項を受けて4月24日(水)に同じく「つ串亭」で企画運営委員4名により事務局内での役割分担、行事企画などを検討。新たに「高尾山ピアマウント」案が出され検討を開始。

○令和元年5月3日(金)西北会員である高山恵子さんのライブ「高山恵子と楽団南十字星」を希望者6名で鑑賞、ジャズ、タンゴを堪能した。

今後の予定は7月13日(土)「高尾山ピアマウント」(飲み放題食べ放題)

(桃井 清治/記)



けやき

けやき会総会は4月20日(土)正午から千歳船橋の『レストラン オーランド・ヴー』で20名の出席で開催されました。昨年度の活動並びに決算報告、今年度の活動計画と活動予算案を全会一致で承認頂き、また任期満了となった世話人は全員が再任、今年度も小倉代表世話人以下9人体制で運営する事になりました。

総会終了後の今年の「講話」はけやき会の会員であり、現在早稲田大学校友会の常任幹事で事業部長を務められている首藤信彦さん(S50政経)に講師をお願いしました。「早稲田大学の現在」と題して、鎌田前総長が2012年に2032年の大学創立150周年を見据えて制定された「WASEDA VISION 150」及び昨年11月に就任された田中新総長の所信表明についての解説と最近完成した早稲田アリーナの内部設備の紹介をして頂きました。普段なかなかじっくりと聞く機会が無い話題をお聞きする事が出来て良かったと思いました。

講話の後はフレンチを頂きました。会話が弾み、近況報告をしながら聞きながらアルコールも入り、心地よい時間が経過しました。

最後は全員で声高らかに校歌を斉唱して総会を無事終了致しました。

(斎藤 正憲/記)



さくら

恒例となった世田谷稲門会の花見会が、平成31年3月28日(木)に砧公園で開催されました。この花見会は、きぬた会、キャロット会、玉川会、さくら会の4つのブロック会の共催で行われているものです。

今年は、日程を設定したきぬた会の榎並代表世話人の判断がどんぴしゃりで、桜がほぼ満開の中、開催されました。昨年は桜の開花が遅れるという予想があり、4月のはじめに設定したところ、予想が大きくはずれ、桜の開花、満開ともに急に早くなり、当日は葉桜になっていました。

昨年は、葉桜ではありましたが、飲食・歓談をはじめたら、どうでもよくなりましたし、今年も満開の桜のもと、飲食・歓談をはじめたら桜の花はどうでもよくなりました。

私は、昨年も「花より団子」と言っておりましたが、その通りだったと思っています。

なお、さくら会会員の参加は4人でしたが、来年も花見会は行われますので、多数の参加が期待されます。

(小口 浩一/記)

玉川

5月12日(日)玉川会総会を玉川総合支所(仮設庁舎)二子玉川庁舎で開催しました。本部から横田会長と國澤幹事長にご出席いただき、会員77名中28名が出席しました。講師にコンバットマーチ作詞・作曲者の三木佑二郎氏を迎え、講演テーマを「コンバットマーチと早稲田カラー」とし、多彩な経歴の自己紹介からコンバットマーチ制作秘話、昨今の早稲田スクールカラーの変化への憂慮など含蓄のあるお話をさせていただきました。稲門祭福引付き奨学金記念品販売の案内も行い奨学金寄付金を含めて大変多くの方々のご協力をいただきました。しばしの歓談の後14時過ぎに閉会しました。



また、5月26日(日)午後零時より春のグルメ会を開催しました。玉川会ではランチ形式の食事会を年2回春と秋に開催しています。今回は都立大学駅の「アメリカンクラブハウス」という日本のスペアリブ発祥のお店に集まり、ヘルシーな仕上がりのスペアリブを楽しみました。参加者は、会員17名、夫人4名の21名でした。料理はメインのスペアリブ以外にも前菜やパスタも種類が多く、皆で和気あいあいと盛り上がる事が出来ました。

(横山 修/記)

千歳

平成31年度の第1回目の懇親会を4月20日(土)、12時30分から八幡駅近くの『中国料理 佳燕』にて開催しました。

懇親会に先立ち、午前11時に9名が「世田谷文学館」に集合し、この日から始まった「サイボーグ 009」や「仮面ライダー」などで知られる「石ノ森章太郎展」を約1時間見学しました。有名な「トキワ荘」の一部屋の再現コーナーもあり、漫画家たちの生活ぶりが垣間見られました。



12時30分から、17名にて総会及び懇親会を開催しました。本部から横田会長、さくら会から小口代表世話人にもご出席いただきました。平成30年度会計報告、世田谷稲門会の今後の行事の案内などの後、乾杯、懇談に移りました。

途中、各人の近況報告、稲門祭記念品の購入依頼を行い、多大なる協力をいただきました。料理とお酒と歓談を楽しみ、盛況のうちに校歌斉唱にてお開きとなりました。

(戸田 昇/記)

きぬた

平成31年3月28日(木)、午前11時~午後1時まで、砧公園にて恒例の「花見の会」を実施しました。今年は4ブロック会(きぬた、キャロット、玉川、さくら)の共催です。朝から曇っていましたが、桜は満開で、絶好のお花見日和となりました。昨年の「葉桜見物」からは雲泥の差でした。当日は世話人が朝8時に現地に到着し、花見場所を確保しました。定刻の11時には20名以上の会員が集まりました。長老の岩沙脩さん(S29 政経)に乾杯の音頭をとっていただき、花見の宴が開宴となりました。世田谷稲門会7ブロックから横田会長、露木副会長ほか総勢31名の方々に参集いただき、賑やかに開催されました。きぬた会世話人なじみの居酒屋「コッコロ」のオードブルや、準備したビール、さらには参加会員皆さんに手持ちいただいた日本酒やワインなどを味わいながら、午後1時には中締めとなりました。午後には薄日もさし、暖かい花見の一日となりました。



(榎並 俊一/記)

キャロット

平成31年3月28日(木)、に開催した花見の会にはキャロット会から青木明彦、河井洋介、西喜永治、富塚兆彌、原貴則、原麻里奈、御園生勇の7名が参加し、各ブロック会の皆さんと交流を深めました。

桜の花のみならず、オードブル、お酒を楽しみました。

令和元年10月18日(金)正午から246号線三宿交差点の近くのロシア料理のサモワールにおいてお店を借り切って懇親会を開催します。

12月7日(土)正午から銀座アスター三軒茶屋賓館で忘年会を開催します。

(富塚 兆彌/記)

特別部会だより

地域サポート活動

月1回の例会は、新入メンバーも加わり、意見も多様性を増しています。このところの議題は専ら世田谷稲門会の各種催しで募金箱に入れていただいたり、個人的なお志でご入金いただいた募金の寄付先の検討です。「恵まれない子供たちを支援したい」という視点で選定作業を進めています。少子高齢化が進む中、自らの子供・孫等と一緒に今後の日本社会を担っていく世代の健全な成長を助けることは喫緊の課題と思います。

今後は、固定的な寄付先として①公的機関②個人的な施設のいずれかに決めようと考えています。今まで寄付してきた施設を含め、新たな候補先にはメンバーが見学に出向くなど積極的かつ慎重に検討しています。募金がどのように使われるのか、目に見えることがご寄付いただいた会員各位のお心に沿えるものと思います。

募金残額は、平成31年4月24日現在487,409円となっています。

(中村 京/記)

レディースクラブ

レディースクラブは、6月8日(土)の総会日に併せて地域サポート活動部会と共催でバザーを行いました。皆様からは多数の品物のご提供があり、売り上げにも大いにご協力いただきました。厚く御礼申し上げます。

おかげ様で84,360円の収益がございました。収益金は地域サポート活動部会を通じ、恵まれない子供達の支援に役立てます。

現在クラブミーティングでは、11月16日(土)午後北沢タウンホールにて開催の講演会の準備を進めているところです。

講師には世田谷稲門会副会長の露木茂氏をお迎え致します。ちなみに露木氏はレディースクラブ応援団長でもあります。テーマは『最近のジャーナリズムについて考えよう』の予定です。露木氏のジャーナリストとしての多岐にわたる有意義なお話が伺える良い機会です。皆様のご参加をお待ちしております。講演会詳細は、チラシ等で知らせいたします。

(濱野 千鶴子/記)

青年

3月26日(火)に2019年初めての青年部会の例会が代々木の新日鐵代々木倶楽部にて行われました。植松世話人が幹事を務め、初参加2名を含む19名が参加し、会社員、弁護士・税理士等の各種士業、区政に関わる方、映画監督等の様々な業態の出席者が楽しく交流しました。半分以上の参加者は同倶楽部の地下のバーでの二次会に繰り出し、石庭を楽しみながら、痛飲しました。

また、3月28日(木)の晩に目黒川沿いの大樽目黒川店(中目黒)にて開催された花見会に、青年部会から有志7名が参加しました。近隣稲門会、年次稲門会から四十数名の校友が参集し、盛り上がった大宴会でした。当日の目黒川沿いの桜は満開に近く、花見客でごった返っていて、私たちも花見気分を十分満喫出来ました。

令和元年初めての例会を7月25日(木)午後7時から新日鐵代々木倶楽部にて開催する予定です。

(中島 史郎/記)



趣味の部会だより

スポーツ観戦

同じ勝ち点3で迎えた早慶戦。何としても勝ち点を挙げて単独2位の座を確保したい両チーム。1回戦は劇的なホームスチールなどもあり先勝したが、2回戦、3回戦と連敗し、今春も賜杯に届かなかった。小宮山監督の1年目の春シーズンも終わった。しかし監督もそれなりに手ごたえを感じているようだ。そして中村卓也(大阪桐蔭・内野)をはじめ田中星流(仙台育英・投手)、蛭間卓也(浦和学院・外野手)、名倉侑田(日大豊山・投手)、等々有力新人も入学し選手層も厚みを増してきた。今後も期待したい。

さてラグビー部だが、6月9日(日)(大分市営陸上競技場)の対明大戦では14-29と完敗し昨年覇者の實力を見せつけられた。6月16日(日)の対帝京戦を残しているが、FW特にフロント・ローの人材不足が致命的だ。何とか地道に實力を蓄えて秋のシーズンを迎えたいもの。

(小林 昭一郎/記)



ゴルフ

第98回コンペ (中津川CC)

平成31年3月19日(火)、平成最後のコンペが中津川カントリークラブで36名が参加して開催されました。すっきりとした快晴ではありませんでしたが、雨も降らず暖かなゴルフ日和でした。

優勝は押見正雄さんの2連覇、準優勝は村瀬順さん、3位が境信親さん、グランドシニア優勝は柴田昇さん、シニア優勝は刀根秀己さん、レディースベストは井澤美知恵さんでした。



第98回の優勝者



第99回の優勝者

第99回コンペ (オリムピックCC)

令和元年6月5日(水)、令和最初のコンペがオリムピックCCで25名が参加して開催されました。暑い中をうねりの多いグリーンに苦勞しながらも、なんと4名の方がアンダーパーという好スコアでした。

優勝は林馨さん、準優勝は倉田富士男さん、3位は宮坂尚利さん、グランドシニア優勝は横田吉明さん、シニア優勝は青木誠司さん、レディースベストは村松久子さんでした。

第100回記念大会 (都留CC) の予告

令和元年10月17日(木)、都留CCにて開催します。ゴルフ部会会員には全員に記念クオカード(2000円相当)を配布します(2019年年会費納入者に限る)。さらに参加者全員に参加賞(1500円相当)を配布する予定です。奮ってご参加ください。また、会員の皆様からの賞品のご提供をお待ちしています。
(榎並 俊一/記)

ウォーキング

3月17日(日)、午後1時、北鎌倉駅に7名が参加し、当日世話人の秋田滋さんの案内で内外の観光客で賑やかな鎌倉七福神巡りを楽しみました。コースは浄智寺～鶴岡八幡宮～宝戒寺～妙隆寺～本覚寺～御霊神社を訪問して長谷寺にて無事終了しました。

4月7日(日)、午後1時、東武浅草駅に10名が参加し、世話人の兼子慎介さんの案内で江戸の名残を留める浅草周辺を散策しました。吾妻橋を渡って春爛漫の桜の隅田川沿いを東京スカイツリーを眺めながら待乳山聖天～山谷堀公園～吉原大門～飛不動尊～吉原神社～遊郭の名残を残す吉原弁財天を巡り浅草寺にて解散となりました。

5月18日(土)、午後1時、新井薬師前駅に8名が参加し、世話人の桃井清治さんの案内で哲学堂公園から新井薬師への散策をしました。東光寺～光徳院～哲学堂公園にての釈迦、孔子、カント、ソクラテスを祀る四聖堂と歴史に残る建造物の見学～水の塔公園～北野神社～古代にまたがる歴史民俗資料館～徳川秀忠の子の眼病治療で名を馳せた新井薬師を訪問する歴史散歩を楽しみました。
(江原 利次/記)



食べ歩き

回を重ねて第80回(平成30年度第4回)食べ歩き会は、令和元年5月24日(金)網町三井倶楽部での開催となりました。

1913年に建築され100余年を経過した当館は三井家の迎賓館として、戦後は三井グループ会員企業の迎賓館として利用されて来た建物ですが、大変な歴史と風格を感じた施設でした。

今回は41名の参加者でしたが、何と20名(ファミリー会員、ご友人を含む)が女性という構成で華やかな雰囲気での食事会でした。会に先だち中井代表世話人から挨拶があり、次に久しぶりに参加された数人の方々からご挨拶をいただき、小倉さんのご発声で乾杯に移り当倶楽部ご自慢の本格的フランス料理のフルコースを楽しんだひとときでした。

また、食事会の後は2班に分かれて係の方のご案内で風格漂う本館の各個室を見学しました。この他、広大な土地に広がる西洋庭園、日本庭園は素晴らしい景観で、是非一度訪ねられる事をお勧め致します。
(小池 早苗/記)



カラオケ

■100歳めざす月例会はサロンの雰囲気。毎月第一土曜日午後1時～5時下北沢中央口駅前カラオケマック。当日会費2000円、受付集会后3～4室に入れ替え(出欠返信で部屋割り)飲み物前後半2回、高野フルーツチョコ付き。

■第144回3/2(12名)、第145回4/6(17名)定時総会(写真)、第146回5/4(11名)新元号「令和」の一般参賀日なので締めはカラオケ画面で君が代を斉唱、第147回6/1(15名)。

■会員紹介(令和元年6月1日現在36名)浅沼肇(40商)、麻生久江、薄井好雄(47商)、江口瞳(35文)、江口工、小倉康弘(26理)、河内文雄(34法)、柏良子(31政)、熊本昭二(30商)、熊本ちづる、倉田豊(43商)、倉田政子、小池早苗(40商)、小坂源次(46政)、小島秀樹(45法)、近藤正輝(39政)、近藤順亮(31商)、齊藤治雄(38法)、境信親(61理)、桜井昭一(36政)、鈴木宏治(38商)、高橋郁夫(60政)、高橋惇(33商)、谷口幸四郎(51商)、種子田俊郎(50政)、種子田恵子、篤勝秋(42商)、友吉彰(42政)、豊田恵之助(33政)、内藤娃子、新田喜男(37法)、松村秋森(33商)、横山徹(56社)、脇坂元彦(34政)、脇坂典子
(倉田 豊/記)



釣り

4月21日(日)川崎のつり幸よりシーバスルアー釣り。午後便12時集合。アクアライン橋梁近辺にて探る。3～17匹。

4月29日(月)剣崎間口港利一丸より真鯛、真鯨釣り。真鯛の乗っ込みシーズンなので、釣り場は遊漁船40隻強出ていた。藤島さんはじめて真鯛を釣る。柴田も49cm、2kgの型の良い真鯛を釣ることが出来た。後半の鯨も8～17匹釣れた。

5月2日(木)馬入川河口にて稚鮎釣り。6cmと小型なので10匹で納竿。

5月6日(月)利一丸より出船。南風上げ潮のため鱸の方が良く、山崎氏3kg頭に7匹。舳先の小生は不漁。鯨も相変わらず好漁。

●今後の予定(6月5日現在)

磯釣りは三浦半島海タナゴ釣り。平塚庄治郎丸よりヒラメ五日釣り試釣り。近隣の多摩川でヤマベ、鮎釣り。東名高速道路下が良いそうだが、砧総合運動場の駐車場しかなく、運動場を使用する人しか使わせてもらえない。二子玉川駅、和泉多摩川駅からも2km前後歩かねばならない。近くのバス停天神森橋からが一番近い。これから秋に向かって試釣りをしていく。沖釣りは、6月21日(金)、23日(日)、7月15日(月)つり幸でキス釣り。

8月16日(金)つり幸LT鯨釣り。8月23日(金)納涼会。9月23日(月)、10月4日(金)、22日(火)、11月4日(月)剣崎間口港よりワラサ、鯨釣り。
(柴田 昇/記)



俳句

平成31年2月25日(月)の句会は兼題「薄氷」、3月25日(月)の句会は兼題「長閑」、4月22日(月)の句会は兼題「逃水」、年号が変わって令和元年5月27日(月)の兼題は「筍」でした。他に自由句2句持ち寄りました。

いずれも桜新町区民集会所で開催されました。高得点句を掲載します。

(富塚 兆彌/記)

盛塩の崩れてるたる春しぐれ	たか二(荒居隆二)	薄氷や手を取るほどの仲となり	牧羊(津島晃一)
山菜莢の花けぶらせる絹の雨	まもる(松尾 守)	花の雨音なく回る観覧車	雪子(家井雪子)
初蝶や通学の見の列乱る	兆 弥(富塚兆彌)	諸葛菜母枝に育つ山羊草	上馬の(暮田忠雄)
海棠のひとひら零れをり閑 <small>しずか</small>	恵 那(榎並俊一)	分け入れば風の遠路や夏木立	勝(田中 勝)
紫陽花のせかされ咲くや季の乱れ	利 水(江原利次)	今年付きさはきは雨の降り出せり	広(矢後勝洋)

芸術芸能鑑賞

世田谷稲門会芸術芸能鑑賞部会では、4月に2つの鑑賞案内をしているが、今年は夏の猛暑が予想されるので、7月8月開催の案内をやめることにする。9月以降に落語のほかには歌舞伎・文楽の案内を予定している。

5月17日(金)の「三越落語会」は雲助・喬太郎などの人気者がそろい好評であった。また6月7日(金)の「KEIKOとATTILAさんの夢の共演」は朝日新聞にも掲載され実力者のレベルをいかんなく発揮した。

(鈴木 宏治/記)

麻雀

平成31年3月から令和元年5月までの月例大会の活動結果を報告いたします。

平成31年3月 9日(土) 優勝：岡田俊博 準優勝：田島功統 3位：武田一成 (参加者28名)

平成31年4月14日(日) 優勝：中村晃二 準優勝：林 馨 3位：河村卓郎 (参加者24名)

令和元年5月11日(土) 優勝：中村晃二 準優勝：阿部信之 3位：宮木 甫 (参加者24名)

連続優勝は減多にできることではなく、しかも平成最後の月と令和の最初の月とのことで、世田谷稲門会麻雀会の歴史に残るとおもいます。中村さん、おめでとうございます。

なお、連続優勝は過去2回あり、過去2回とも橋本さんでした。また、大会では11の多くの賞がありますが、本年度から設置された役満賞は橋本さんの大三元でした。今後、年間の上位4名による大会での仮称「年度名人」または「年間チャンピオン賞」も検討しています。

大会以外でも会員交流の交流麻雀会も盛んにおこなわれていますので、ご興味のある方は、ぜひご参加ください。お待ちしております。

連絡事務局 用賀駅徒歩1分 (鈴家 03-3700-8199) 飯田さんまで

(佐藤 喬/記)

囲碁・将棋

将棋部は前号で早大出身のプロ棋士を紹介したが、女流棋士については触れなかったのでご紹介すると、宮宗(旧姓熊倉)紫野女流二段、早水千紗女流三段がいる。また、バラエティ番組にしばしば出演する美人棋士竹俣紅女流初段は今年3月末で惜しくも引退したが、政治経済学部の現役学生だ。優れた人材がいなくなるのは寂しいかぎりだ。

(飯田 保則/記)

囲碁部は6月1日(土)に関東近県の各地区稲門会が参加する年に一度の囲碁メインイベント「オール早稲田囲碁祭」に参加しました。5名一組の団体戦で最上のAクラスで二勝一敗の準優勝でした。

一泊の定例会は4月27日(土)「ふじみ荘」にて馴染みの杉並・中野・大田・新宿・北からも参加いただき総勢25名の賑やかな会でした。棋力別に2リーグに分けた対局結果は無差別級では池松九段が7戦全勝、もう一方では大田区から初参加の平賀さんが7戦全勝でした。次回は7月27日(土)の予定です。

(池松 正之/記)

写真

写真部会も毎月一度集まり、各自ボードにプリントした作品を張って、他のメンバーからの率直な感想やアドバイスを聞いています。これはかなり写真の上達に役立つようです。

提出される作品は比較的風景写真が多いです。いろいろと風景写真を見て初心者の私が教えられたのは、まず撮影する時間帯は朝方か夕方が良いということです。光が斜めからくるし、柔らかいことです。確かにカンカン照りの中ではデジタル写真の場合、光とコントラストが強すぎて難しいです。

また素晴らしい風景に出くわすと、雰囲気感に感わされてシャッターを切ってしまうのですが後でがっかりしてしまいます。やはりシャッターを押す前に何を撮ろうとしているかを考える必要があります。

プリントに関しては種谷代表世話人の指導もあり、皆かなり上達しています。写真、撮影やプリントに関心のある方ぜひ見学にいらして下さい。

例会：10時～13時30分東京農大校友会館2階(原則として第3木曜日。終了後階下にて昼食、写真談義(時間のある方))

(石橋 暉彦/記)



会員の広場

梅にメジロ

御園生 勇 (昭43理工)



古希が近づいたところから、世田谷区内の歴史的名所や地域イベントを見て歩くことが多くなった。年末の12月15、16日と正月の15、16日、朝9時の花火を合図に始まる「ボロ市」では、代官屋敷前のボロ市通りの雑踏をかき分け、植木、古道具などの店を見て歩くのが楽しんだ。代官屋敷向かいの天祖神社広場に通じる参道で竹製の餌台を売る店に興味があった。からすかキジバトを見るだけの庭にスズメでも飛んで来たらいくらか賑やかになるぐらいの軽い気持ちで、餌台を自作し米粒を

置いた。スズメは一向に現れなかった。やはり、実績のある餌台でなければと、ボロ市で餌台を購入した。餌台はメジロ用で、孟宗竹を割った屋根と竹節を利用したみかんをのせる皿を吊るすだけの簡単な構造だ。割竹の屋根がヒヨドリ除けになっている。店主によれば、ボロ市ごろからメジロが来るとの話で、餌台を吊るす場所に特別な条件はないようだった。早速、メジロを期待して、庭の紅梅に餌台を吊した。この紅梅は、近所のホームセンターで購入した樹高20cmにも満たない苗を地植えし、十数年を経て、昨年ようやく2階のベランダから枝先が見えるまでに伸びた。日当たりが良くなった今年は、紅色の花を沢山咲かせ、庭の雰囲気大いに盛り上げてくれた。

道具が良かったのか、餌台のみかんは数日で皮だけになり、新しいミカンに交換すると翌日には皮だけになった。近所の「駒沢オリンピック公園」か「秋山の森」の梅林にでも居たのか、目の周りが白く黄緑色のメジロが2羽頻繁に見られるようになった。

梅の季節に「梅にメジロ」

の写真を撮りたいと粘ったが、いかんせん狭い庭で人の気配を消せない。手軽なスマホでは、メジロが小さくなり過ぎ、拡大すると絵が粗くなる。望遠レンズをスマホに付けても、画面サイズが合わず、メジロの動きを追えない。この「梅にメジロ」は、手持ちのスマホより画素数の多いカメラに、ズームレンズと電子的な拡大・トリミングを組み合わせ、ようやくメジロの動きを追えて撮れた写真だ。

遠い故郷・弦巻

山田 泰文 (昭55理工)



私は弦巻で生まれ弦巻で育った。63歳になった今も生活の土台はここにある。

「故郷は遠きにありて思うもの」という詩の一節があるが、私にとって「遠い故郷」とは「昔の弦巻」である。そんな故郷のことを思い出してみた。

私が高校生だった頃、弦巻は「陸の孤島」だった。高校へは渋谷に出て山手線に乗り換えて通学していたが、渋谷までの唯一の交通手段がバスだった。毎朝、弦巻中学校前のバス停で時間通りに来ないバスを待った。15分以上待つ日もあった。やっと来たバスは玉川通りで激しい渋滞に遭遇し、渋谷まで40分は満員バスに閉じ込められる。時には1時間近くかかった。

だからたびたび遅刻をした。教室にはいると、教師は「どこから来たのか?」と問う。「弦巻からです」と答えると、「あの陸の孤島か……」。それで遅刻は許された。当時「駒沢」や「深沢」も同じ理由で許された。

大学2年になったとき、待ちに待った「新玉川線」が渋谷・二子玉川間で開通した。朝なのに家から渋谷まで30分程でちゃんと着くことができた。

感激だった。

「蛇崩川」も「昔の弦巻」である。弦巻通り沿いを流れる蛇崩川にはいくつもの橋が架かっていった。向井天神橋、親和橋、向井橋……。今は交差点の名前にしか残っていないそれらの橋が、川を跨いで実在していた姿は遠い故郷の風景である。

当時の弦巻中学校の野球部員にとっては、しかしながら、蛇崩川は迷惑な存在だったに違いない。それは校庭の横を流れるドブ川だった。練習中にファウルとなった打球や暴投したボールが校庭の塀を越えて川に落ちる。練習後このドブ川でボールを拾い集めることが1年生の仕事だった。当時バスケット部だった私はその姿を見るたびに、野球部に入らなくてよかったと思つたものだ。

私が早稲田を卒業したところ蛇崩川は暗渠となり、その上が遊歩道となった。今の蛇崩川緑道である。橋がある景色がなくなつたのは寂しいが、ドブ川がきれいな緑道へと大変身を遂げた。今私はこの緑道が好きで、たまに緑道終点までの往復を2時間ほどかけて歩いている。

世田谷稲門会 会員異動状況 令和元年5月31日現在(正会員451名、準会員41名)

〔新入正会員〕 個人情報につき不掲載

氏名	卒年	学部	郵便番号	住所	電話	ブロック会
野口 尚男	昭33	理工				玉川

〔退会会員〕

氏名	卒年	学部	備考	ブロック会
松野 文彦	昭35	政経		けやき
落合 司郎	昭45	理工		玉川
佐山 順孝	昭34	法		

〔退会準会員〕

正会員名	準会員名	備考
故 木村 茂	木村 凌子	

〔住所変更・訂正〕

氏名	卒年	学部	郵便番号	住所	電話&メールアドレス
加藤 直人	平07	社学			
宮田 大	昭61	政経			

〔その他変更・修正〕

氏名	卒年	学部	修正箇所			
			メールアドレス	電話	FAX	ブロック
一色 淳子	昭56	政経				
中川 義英	昭47	理工				
若下 秀雄	昭45	商				

事務局からのお願い；

会員みなさまの入退会はもとより、転居の場合は郵便局への届け出だけではなく、世田谷稲門会事務局にも忘れずにご連絡ください。また、電話番号、e-mailアドレス、ブロック会の変更、名簿の修正事項も事務局まで必ずご連絡ください。

事務局担当 篠崎 章子 電話 03-3305-4650 e-mail ; shinoshoko@gmail.com

世田谷稲門会ホームページ URL
<http://setagayatou.mond.jp/>

編集後記

71号は令和最初の会報になります。近くのフィットネスクラブに「平成に感謝 令和に期待」というピラが貼られていました。新しい時代の息吹に期待したいものです。

6月8日に開催された定時総会では、きぬた会の元NHKアナウンサー松平定知氏から「伝えるということ」という、含畜のある、貴重なお話を聴かせていただきました。

会員の広場では、キャロット会の御園生勇氏から、ご自宅で育てた紅梅にボロ市で買った餌台を吊るして、メジロが来るようになったとか。苦心して撮った絵のような写真が紹介されました。またさくら会の山田泰文氏は、生を受けて60年以上経過して来た弦巻の変化を懐かしんでおられました。題して「遠い故郷・弦巻」

さて、いつもながら地域毎のブロック会や趣味の部会の活動が益々盛んなことは素晴らしいことではないでしょうか。早稲田に青春時代を共有した大勢の友人が、年を重ねても仲良く交流できること、そして趣味を共有できることは貴重なことだと思います。

令和の意味について「人々が美しく心を寄せ合う中で、文化が生まれ育つ」と書いたものがありました。

(若林 昭男/記)